

ファイザー

公募型Quality Improvement Grants

小児に対するワクチンの筋肉内接種法の推進に向けた医療従事者への取り組み

外部有識者審査プロセス



本公募の概略

当該プロジェクトの実践を通じて、小児予防接種業務に携わる医療従事者における小児に対するワクチンの筋肉内接種法を推進するための取り組みを支援します。



対象国

日本



対象疾患 / 目的

小児に対するワクチン接種について、実臨床において筋肉内接種法を推進するための医療従事者への取り組みを目的とした、以下のよう
なプロジェクトを支援の対象としますが、この限りではありません。

- ・小児に対するワクチンの筋肉内接種法を推進するためのスキル向上
や行動変容を目的としたプロジェクト
- ・予防接種業務に携わる医療従事者の小児に対するワクチンの筋肉
内接種法の定着に取り組むプロジェクト
- ・小児に対するワクチンの筋肉内接種に対し、筋肉内接種法への忌避
を払拭し、実臨床での筋肉内接種法の選択意向を高めるためのプロ
ジェクト



締切日等 スケジュール

- ・ 公募締切日: 2025 年 6 月 30 日
- ・ 審査結果通知: 2025 年 8 月
- ・ 助成金を使用したプロジェクトの開始日: 2025 年 10 月

助成額 / プロジェクト実行期間

- ・ プロジェクト1件あたりの上限額: 5,000,000 円
- ・ プロジェクト実行期間: 2 年間 (2025 年 10 月 1 日～2027 年 9 月
30 日)



I. 応募資格

対象国：

- 日本

申請団体要件：

- 法人格を有する以下の施設・団体に所属し、その所属施設・団体として申請してください。個人として申請することはできません。
 - 大学、大学病院、地域中核病院、その他医療系の教育機関
 - 医療系の学会・研究会等
 - 医療系の財団法人、NPO 法人など（疾患領域に関する活動を行っている法人、患者会、患者支援団体など）
 - 医師会・薬剤師会・歯科医師会
- 他施設／他団体と連携したプロジェクトの場合、すべての施設・団体が意味のある役割を果たし、その中でも申請する施設・団体が最も重要な役割を果たすこととします。
- 応募の際には、各所属施設・団体からの了解を得てください。

II. 公募詳細

公募開始日：

- 2025 年 4 月 16 日

公募対象疾患：

- ワクチン

本公募の目的：

本公募は、小児に対するワクチン接種について、実臨床において筋肉内接種法を推進していくための医療従事者を対象としたプロジェクトを募集します。

当該プロジェクトの実践を通じて、医療従事者が小児に対するワクチンの筋肉内接種法を安全かつ適切に実践・推進するための体制を構築していくことを目的とします。

注意事項：臨床試験（介入／非介入）、非臨床試験、疫学研究、レジストリー構築等の研究を含むプロジェクトは本公募の対象外です。また COI の観点より、診療ガイドラインやガイダンス等の作成が含まれるプロジェクトも助成対象外とします。

プロジェクトの対象者：

- 医師（専門は問わない）、薬剤師、看護師、その他の医療従事者

本公募の背景：

小児に対するワクチン接種において、筋肉内接種法は皮下接種法に比べ、発赤・腫脹・疼痛等の局所反応が少なく、また免疫原性は同等であるか、また一部のワクチンではそれ以上であることが知られており^[1-3]、海外では生ワクチンを除く多くのワクチンの標準的な接種方法が原則、筋肉内接種法となっています。

一方、日本では、日本小児科学会において小児に対するワクチンの筋肉内接種法は重要な医療行為の一つとして

考えられ、皮下接種法に加えて筋肉内接種法で行うことを可能とする要望書^[4]や、ガイダンス（小児に対するワクチンの筋肉内接種法について）^[5]等が発出されており、国内においても小児に対するワクチン接種において、筋肉内接種法が紹介されています。

現状課題:

現在、国内の小児に対するワクチンの予防接種は、定期接種実施要領^[6]や日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール^[7]に記載されている通り、肺炎球菌ワクチンや 5 種混合など多くのワクチンが乳・幼児期に接種されています。

2 種類以上の予防接種を同時に、同一の接種対象者に行う同時接種は特に接種するワクチンの数が多く、接種部位の限られている乳・幼児期において、接種率を上げるためには重要な医療行為であると考えられ、海外では一般的に行われている接種方法です^[8]。

したがって、国内でも接種部位が広く、局所反応が少ない筋肉内接種は同時接種を含む複数のワクチンを接種する必要のある乳・幼児に対して、ワクチン接種の負担を軽減する接種法の 1 つとして考えられます。

しかしながら、現在、小児に対するワクチン接種状況から、小児科医であっても筋肉内接種法に慣れていないことが想定され、皮下接種/筋肉内接種の両方で接種が可能なワクチン接種の場合、皮下接種を主な接種法として選択される傾向が想定されます。

したがって、小児予防接種におけるワクチン接種法の GAP を埋めるため、医療従事者の小児に対するワクチンの筋肉内接種法が多くの実現場で適切に実施・定着され、推進されるための環境構築もしくはスキル向上が重要であると考えられます。

本公募の助成額:

- プロジェクト1件あたりの助成上限額: 5,000,000 円
助成額は、外部有識者等による審査会にて決定されます。

締切日等スケジュール:

- 公募開始日: 2025 年 4 月 16 日
- 公募締切日: 2025 年 6 月 30 日 (アメリカ東部時間)
- 審査結果通知: 2025 年 8 月
- 助成金は教育助成契約締結後に支払われます。(申請プロジェクト実行にあたり、IRB 承認が必要な場合は、承認取得後に支払われます)
- 助成金を使用したプロジェクトの実行: 2 年間 (2025 年 10 月 1 日～2027 年 9 月 30 日)

申請方法:

- 以下の URL をクリックし、オンラインにて、ファイザー米国本社の申請システムよりお願いします。
www.cybergrants.com/pfizer/QI
 - 初めて申請をされる方は、まず“Create your password”をクリックし、アカウント登録を完了してください。
 - 申請に際しては、こちらの[申請の手引き](#)をご参照ください。
 - Competitive Grant Program Name の選択では、“2025 VAC JP Promote Intramuscular Vaccination Methods for Children QI”を選択してください。
 - Primary Area of Interest の選択では”VAV – General/Non-specific/Other – QI”を選択してください。
- 申請に必要な情報を申請システムに英語で入力し、Page 5 の「プロジェクト申請書様式」を参照の上、プロジェクト申請書 (Letter of Request/Agenda/Project Description) を作成しシステム内にアップロードしてください。
プロジェクト申請書 (Letter Of Request/Agenda/Project Description) のみ日本語での記載が可能です。

注意事項: 申請タイプを間違えて提出がなされた場合、または締め切り後に提出された場合は、その理由如何によらず、受領できないことを予めご了承ください。

お問い合わせ:

- ファイザー 株式会社
meg.japan@pfizer.com
- お問い合わせの際、件名に、今回の公募タイトル「小児に対するワクチンの筋肉内接種法の推進に向けた医療従事者への取り組み」をご記載ください。

助成契約:

- 助成金が承認された場合、Pfizer International LLC と書面による助成金契約を結ぶ必要があります。契約の主要な条件を表示するには、[こちら](#)をクリックしてください。
- ファイザーはバランスが取れ、合理的であるように、且つファイザー/申請団体両者の目的を推進するために、これらの契約条件を定めました。助成金契約の手続きには多くのリソースが必要となります。そのため、申請を進める前に、所属施設・団体（法務部門を含む）がこれらの条件を順守できることを確認してください。
- 本公募はファイザーによって助成支援されます。採択となりましたら、助成金は米国より送金されます。
- 助成金は申請施設の口座にのみ送金可能です。

審査:

- 本公募により受け付けた助成申請は、外有識者審査委員会によって最終的な助成の決定がなされます。

その他注意事項:

- ご申請後の連絡（採択結果含む）はメールにて行います。
- レビューに必要な追加情報・資料の提出などを依頼することがありますので、予めご了承ください。
- 助成プロジェクト開始後、半年に1度、進捗を報告頂きます（中間報告）。また、プロジェクト終了後、最終報告を提出していただきます。
- 助成契約締結後、止むを得ない事情により、申請内容（プラン、スケジュール、助成金使途、プロジェクトメンバーなど）に変更が生じた場合は、必ずご連絡ください。

リファレンス:

[1] Petousis-Harris H. Vaccine injection technique and reactogenicity for practice. Vaccine 2008; 26: 6299–6304
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/18804137/>

[2] Mark A, et al. Subcutaneous versus intramuscular injection for booster DT vaccination of adolescents. Vaccine 1999; 17: 2067–72
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/10217608/>

[3] Carlsson R-M, et al. Studies on a Hib-tetanus toxoid conjugate vaccine: effects of co-administered tetanus toxoid vaccine, of administration route and of combined administration with an inactivated polio vaccine. Vaccine 2000; 18: 468–78
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/10519936/>

[4] 日本小児科学会: 要望書「不活化ワクチンの筋肉内注射の添付文書への記載の変更について」
https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/saisin_1106273.pdf

[5] 日本小児科学会: 小児に対するワクチンの筋肉内接種法について（改定第3版）

https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/20240401_kinchu.pdf

[6] 厚生労働省 定期接種実施要領(改正後全文・令和 6 年 9 月 27 日改正)

<https://www.mhlw.go.jp/content/001092480.pdf>

[7] 日本小児科学会学会が推奨する予防接種スケジュール(2024 年 10 月改定)

https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/20241114_vaccine_schedule.pdf

[8] 日本小児科学会の予防接種の同時接種に対する考え方

https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=127

ファイザー Global Medical Grants & Partnerships について

ファイザー Global Medical Grants & Partnerships (GMGP) は、医療関連団体自らが立案・実行するプロジェクト(ファイザーが注力する疾患領域における、患者さんのアウトカムを改善・向上させるための研究、医療の質を改善するプロジェクト、教育プロジェクト)を支援します。

ファイザー GMGP の公募型 Quality Improvement Grants では、公募要項(RFP)を弊社 Web サイトに公開しています。公募要項には、公募の目的・締切日等のスケジュール・最終的な助成決定がファイザー社内になされる点などの詳細が記載されています。申請団体は、各 RFP に記載されている“プラクティスギャップ”・“クオリティギャップ”を埋めることができるようなプロジェクトの立案をしてください。

プロジェクトの立案・実行は、申請団体の責任のもとに行い、ファイザーがそれらに関与することは一切ありません。

プロジェクト申請書様式

表紙にはプロジェクトタイトル、作成日及びバージョンを記載してください。本申請書は、日本語での記載が可能です。

プロジェクトの背景・目的

- プロジェクトの背景・目的を簡単に記載してください。
- 期待される成果の観点から、プロジェクトで達成する予定の目的を列挙してください。

プロジェクトのニーズ評価

- プロジェクトを実行する必要性を、現在の状況（プロジェクト対象者のレベルなど）をふまえ、記載してください。（定量的データがあれば望ましい）

プロジェクトの対象者

- プロジェクトの主な対象者を記載してください。
- 対象者の数を記載してください。

プロジェクトプラン・スケジュール

- プロジェクトの具体的な実施方法や、マイルストーンをどのように設定しているのか記載してください。
- プロジェクトの詳細なスケジュールを記載してください。（表形式が望ましい）

プロジェクトの評価・結果の測定

- プラクティスギャップ／クオリティギャップが解消されたかどうか、プロジェクトの評価を測定する指標を用い、どのように判定するのか、以下の項目を含め、記載してください。
 - 判定に使用するデータソース
 - データの収集・分析方法
 - 評価結果とプロジェクトとの因果関係を判断する方法
- プロジェクトの予想成果を“対象者”の観点から定量化してください。（例：ベースラインから 10%上昇する）

プロジェクトの画期性

- プロジェクトの画期性について、他のプロジェクトや申請プロジェクトに先駆けて実施した（もしくは進行中の）プロジェクトがあれば、それらと比較して記載してください。

プロジェクト終了後の展開

- プロジェクト終了後、成果・結果をどのように展開していくか、どのように教育を継続させていくことを考えているか記載してください。

その他プロジェクトに関する追加情報

- その他、上記以外の情報があれば、記載してください。

次頁へ続く

申請団体・プロジェクトメンバー

- 申請団体についての詳細を記載してください。
- プロジェクトメンバーを記載してください。
- 応募プロジェクトでパートナーとなる団体（施設）がある場合は、その団体（施設）名称を記載し、その団体（施設）の役割を明確にしてください。

予算明細

- プロジェクト実行に必要な費用のみ計上可能です。費用の明細を記載ください。（表形式が望ましい）
ただし、弊社からの助成金は以下費目には使用できません。
 - 医薬品の購入
 - プロジェクト終了後に申請団体の資産となりえるもの（パソコン、ソフトウェア、カメラ、医療機器など）テキスト・教科書の購入
- 施設へのオーバーヘッド（間接費用）は、プロジェクト費用の 28%を上限に計上することができます。ただし、間接費用を計上される場合でも、本公募で定めたプロジェクト 1 件あたりの上限額を超えることはできません。
- 消費税込で記載してください。